

歴史古街道団 ガイドリーダーと行く史跡探索！

ガイド：富田昭夫（団員）Tel：090-6754-1800

井の頭公園から井草八幡まで ～武蔵野の標高 50m等高線上を歩く（その2）～

■日 時：2017年12月9日（土）10:00集合

■集 合：京王井の頭線「井の頭公園駅」改札口（各駅停車のみ）

■解 散：井草八幡裏バス停 15:30 頃

■参加費（資料代、保険料含む）：一般700円/1人
団員500円（団員家族は2人で700円）

＜参加事項＞

- ・少雨決行（問合せ7:30まで）
- ・事前申込不要。当日現地受付。
- ・飲み物、敷物、雨具等持参

「標高 50m等高線上を歩く」の第2弾。初冬の井の頭公園、善福寺公園を歩きます。武蔵野台地は多摩川が青梅から広がる扇状地です。青梅から標高 50m付近までの地盤の勾配は、この付近から緩やかになるため、湧水が沸きやすい地形となっています。善福寺池からは善福寺川、井の頭池からは神田川が始まって東京湾に流れています。この地に住み着いた縄文人は、川と共に、地形とどのようにかかわっていたか、興味あるところです。井の頭公園では弁財天、湧水、御殿山遺跡をめぐる予定です。

午後からは善福寺池方面に移動し、まず、蕨手刀の発見があった武蔵野八幡宮をお参りし、武蔵野八幡宮と井の頭弁財天と三宝池の弁財天の不思議な位置関係を確認します。応神天皇を祀る井草八幡宮は頼朝が藤原泰衡を征討する際に戦勝祈願をしたところです。境内の民俗資料館には井草遺跡から発掘された縄文時代の顔面把手付釣手形土器があり見学を予定しています。

武蔵野台地では標高 50m の等高線上に川頭を持つ川が、他にもいくつかあり、川沿いに縄文遺跡も多く存在しています。神社配置や縄文遺跡や地形を確認しながら古い時代の不思議な歴史の断片を探ってみたいと思います。



井の頭池の弁財天



井草八幡宮



京王井の頭線「井の頭公園駅」（10:00）～井の頭池～弁財天～御殿山遺跡～（吉祥寺駅周辺で自由昼食）～武蔵野八幡宮～善福寺池～湧水点～井草八幡宮～富士塚～妙正寺川～八幡裏バス停（JR 荻窪行）（15:30 頃解散予定）

*都合により変更の場合あり。



歴史古街道団

本部：東京都多摩市 <http://rekodan.a.la9.jp/>

2017-NO. 33